

第 4 次大津市文化振興計画策定に係る市民アンケート調査

市民アンケート調査結果（速報版）

令和 8 年 9 月

大津市

0 調査概要

調査の目的	第4次大津市文化振興計画の策定に向け、市民等の文化芸術活動や文化振興施策に関する意見を把握するため。
調査対象・方法・期間	対象：大津市内に在住、勤務又は通学している方/大津市内で文化芸術に関心のある方/大津市内の文化施設を利用された方 周知方法：大津市公式 Web サイト・広報おおつ・文化施設への配架・ライン配信 回答方法：Web 回答・紙面回答 期間：令和8年7月21日（火）頃～9月25日（金）※速報は9月16日（水）時点の数値
回収結果	回答者数：336人 ※9月16日（水）時点

調査結果全体の要約

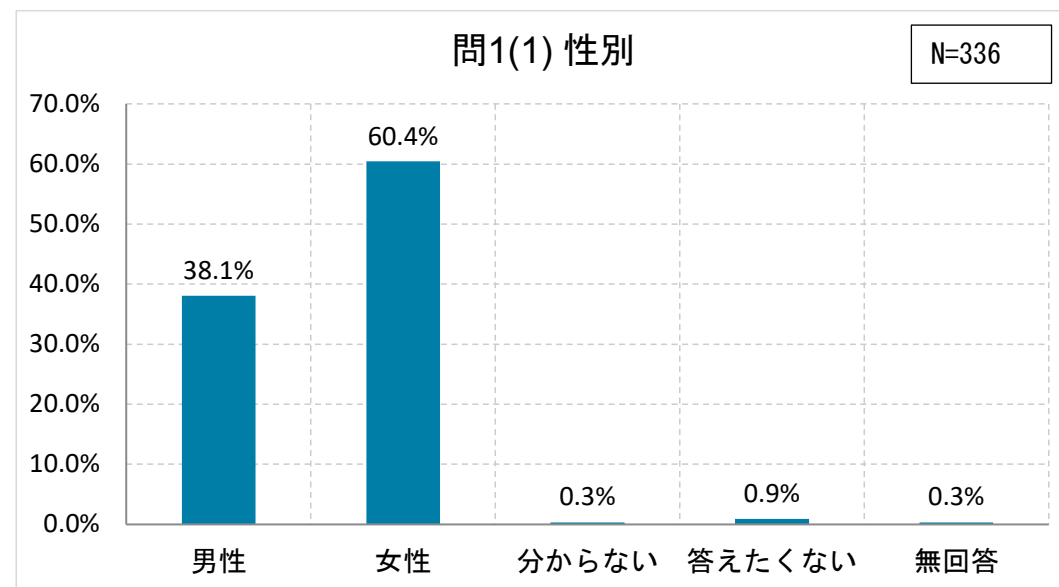
- 1 回答者の基本属性：**
・速報作成時（9月16日（水））の回答者は336人で、女性が60.4%、60歳以上が57.5%を占める。居住地は中部地域が30.1%で最も多いが、市内各地域から回答が寄せられている。
- 2 文化芸術との関わり：**
・文化芸術の鑑賞場所は、市内の文化施設62.8%、市外での鑑賞63.7%を中心に、屋外空間や自宅でも鑑賞されている。鑑賞分野は、音楽55.4%、美術・写真・工芸・書55.1%、映画・アニメ・マンガ等52.4%など幅広い分野に及んでいる。また、地域の伝統行事・歴史文化も44.6%と比較的高く、一般的な芸術鑑賞に加え、地域の歴史や伝統文化も鑑賞対象となっている。

・文化施設は鑑賞だけでなく、実演・制作・練習の場としても利用されている。鑑賞以外の活動では、習い事・講座・ワークショップへの参加が36.0%となる一方、「行っていない」も36.0%を占める。活動のきっかけは家族・友人等からの誘い49.1%、文化芸術の鑑賞44.9%が多いほか、初心者や一人でも参加しやすい環境の整備が求められている。
- 3 文化資源・文化環境：**
・琵琶湖や緑などの景観資源、歴史文化資源の豊かさについては、それぞれ89.0%、84.2%が肯定的に評価しており、大津の文化資源の豊かさは広く認識されている。一方、「市民の文化活動が盛んである」は肯定31.9%にとどまり、否定的な回答が58.7%となっている。
・学校教育で文化に触れる機会についても肯定は28.6%にとどまり、文化資源の豊かさが市民活動や学習機会に十分結びついていない状況がうかがえる。
・「文学のまち大津」は、名称を知っている・聞いたことがある回答が71.7%である一方、取組の内容まで知っている回答は46.1%にとどまる。名称の周知から、具体的な活動への理解・参加につなげる発信が課題となっている。
- 4 文化芸術の効果と今後の取組：**
・文化芸術の効果は、「心の豊かさ・気分転換・ストレス解消」が73.2%で最も高く、「人とのつながり」56.0%、「健康・生きがい」55.7%、「大津への関心・愛着・誇り」55.1%と続く。文化芸術は、個人の心理的充実だけでなく、人との交流や地域への関心にもつながるものと捉えられている。
・今後求められる取組については、「自然・歴史的資源を守り継承する」56.5%と「文化に親しめる機会を拡大する」56.3%が重視されている。これに「文化施設の整備・充実」47.9%、「文化資源を活かしたまちづくり」42.9%、「文化情報を発信する」40.5%が続き、資源の保全と、誰もが利用・参加しやすい環境づくりが求められている。
- 5 鑑賞・活動経験の有無によるクロス分析**
・問15で文化芸術が「心の豊かさ・気分転換につながる」と回答した割合は、鑑賞経験がある人が75.3%、鑑賞経験がない人が35.3%となった。また、活動を行った人が当該設問で回答した割合は78.3%、行っていない人が65.3%となっており、文化芸術との接点がある人ほど、心の豊かさや気分転換につながったと回答する傾向がみられる。
・ウェルビーイング指標も、鑑賞経験者、活動経験者が、経験のない人を幸福度・健康状態・社会とのつながりのすべてで上回っている。特に活動経験のある人とそうでない人とでは社会とのつながりで比較差がみられ、文化芸術との接点とウェルビーイングとの関連が示唆される。
- 6 自由回答**
・大津市が有する歴史・文化資源の保全・活用、観光やまちづくりへの展開、分かりやすい情報発信を求める意見が多くみられた。また、図書館やホール等の既存施設の改修、交通・駐車場の改善、南北地域間の機会格差の是正など、文化芸術に触れやすい基盤の整備を求める声も目立つ。
・このほか、子ども・若者への文化芸術教育、学校や地域での体験機会、市民参加型の事業、活動場所や助成制度の充実を求める意見がみられた。行政に対しては、目的や効果を明確にした市民目線の取組、自然・景観の保全と文化振興を一体的に進めることを求める意見などが寄せられている。

1 回答者の基本属性

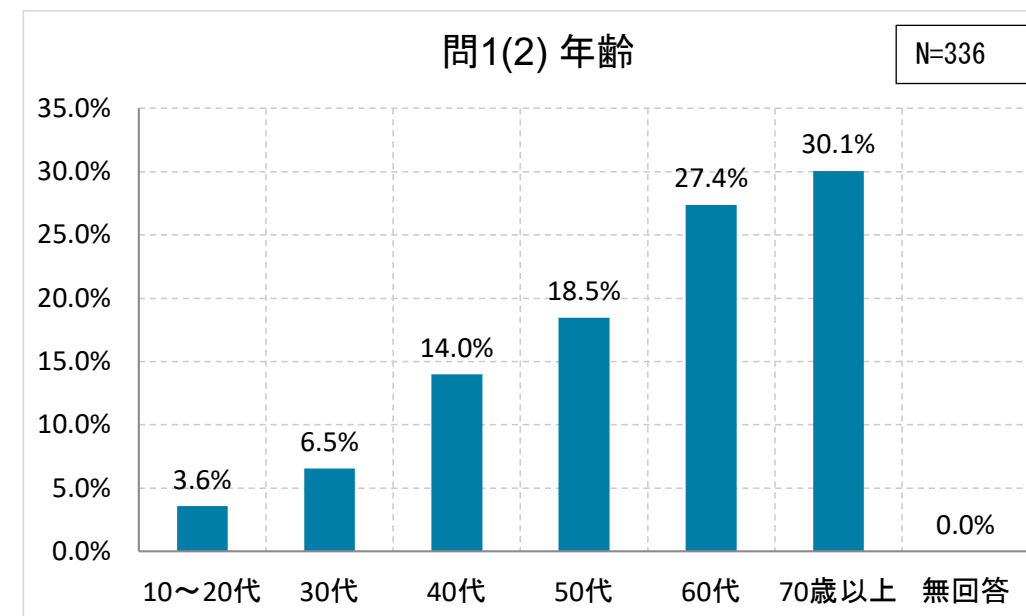
まとめ：

- ・回答者は 336 人で、女性が 60.4%、60 歳以上が 57.5%を占める。居住地は中部地域が 30.1%で最も多いが、市内各地域から回答が寄せられている。
- ・ウェルビーイング指標の平均は、幸福度 6.89 点、健康状態 6.60 点、社会とのつながり 6.39 点で、幸福度・健康状態は比較的高い評価となっている。一方、社会とのつながりは 3 指標の中で最も低く、7 点以上の回答も 52.1%にとどまるなど、回答者による評価の幅がみられる。



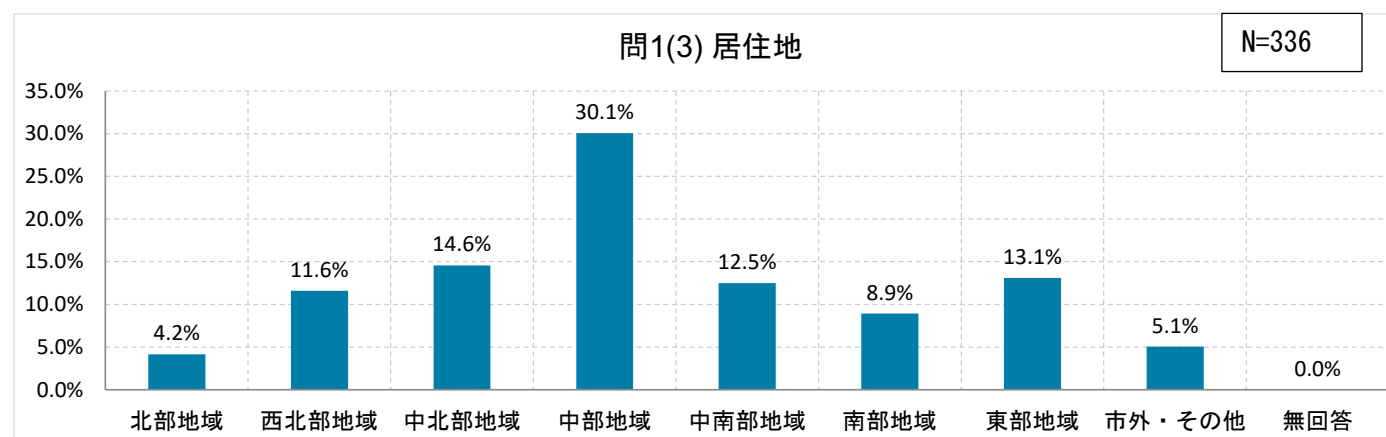
分析：

- ・回答者は女性が 60.4%、男性が 38.1%となっており、女性がやや多い構成となっている。



分析：

- ・70 歳以上が 30.1%、60 歳代が 27.4%で、60 歳以上が 57.5%を占める。50 歳以上では 76.0%となっており、中高年層を中心とした回答構成である。



分析：

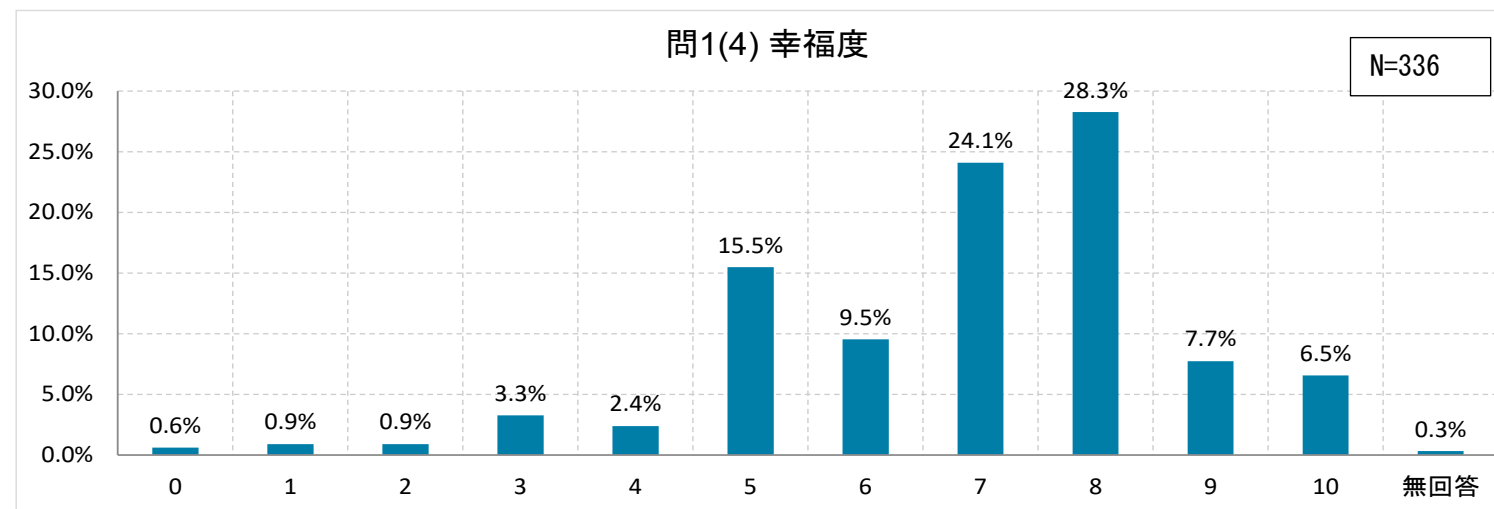
- ・中部地域が 30.1%で最も多く、中北部地域 14.6%、東部地域 13.1%、中南部地域 12.5%、西北部地域 11.6%と続く。中部地域を中心としつつ、市内各地域から回答が寄せられている。

【その他回答】

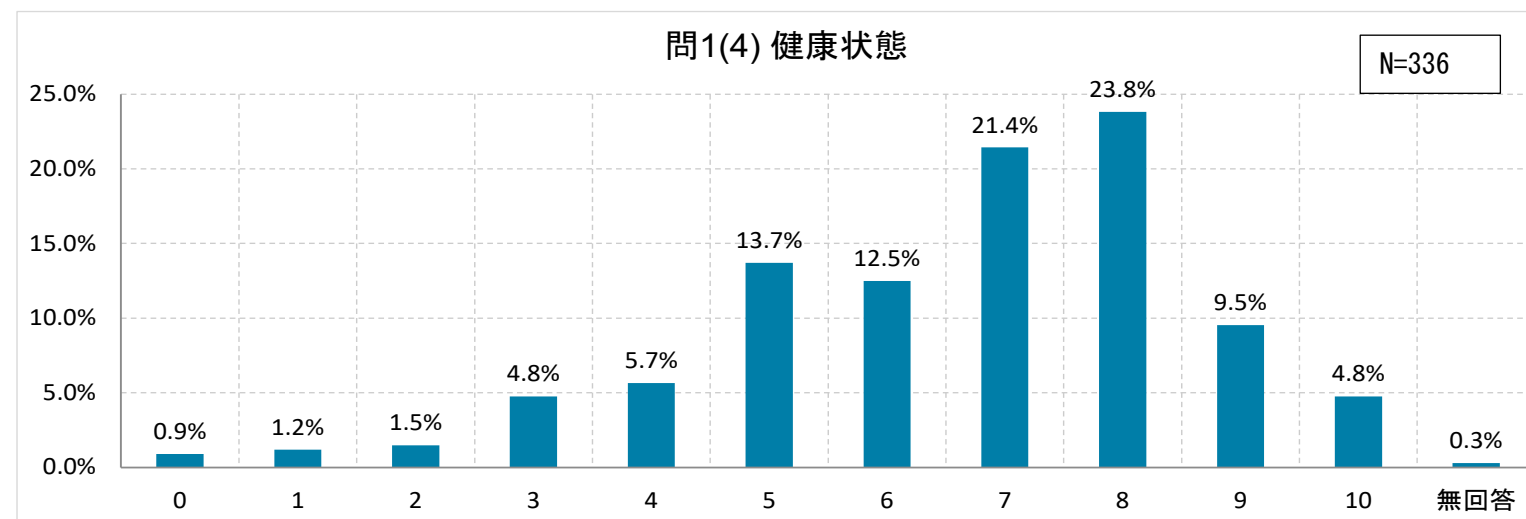
山科区、京都市右京区、京都市伏見区、京都市東山区今熊野南日、草津市、
野洲市、滋賀県守山市、栗東市、市外、奈良県橿原市

1 回答者の基本属性（続き）

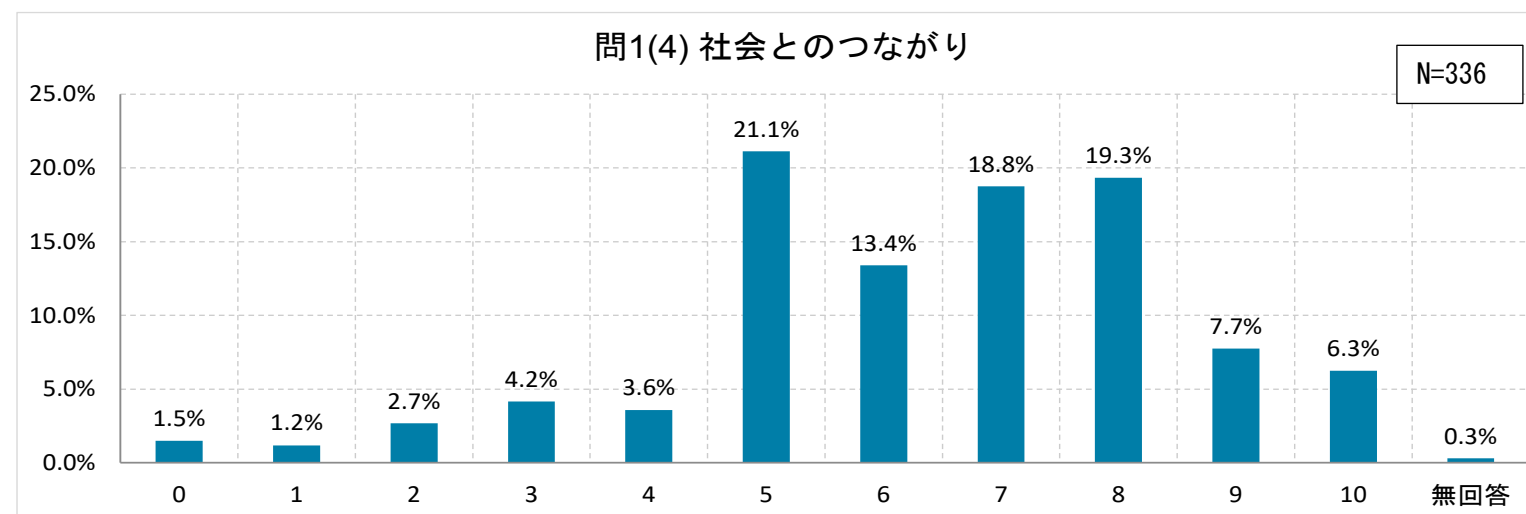
問1(4) 幸福度（0：最も低い～10：最も高い）



問1(4) 健康状態（0：最も低い～10：最も高い）



問1(4) 社会とのつながり（0：最も低い～10：最も高い）



<幸福度>

分析：

- ・幸福度の平均は 6.89 点で、7 点 24.1%、8 点 28.3%となっており、7～8 点に回答が集中している。7 点以上は 66.6%を占め、全体として幸福度は比較的高い。
- ・5～6 点も 25.0%、0～4 点も 8.1%みられ、幸福度には一定の個人差がある一方、健康状態・社会とのつながりと比較すると、5 点以下の分布は低くなっている。

<健康状態>

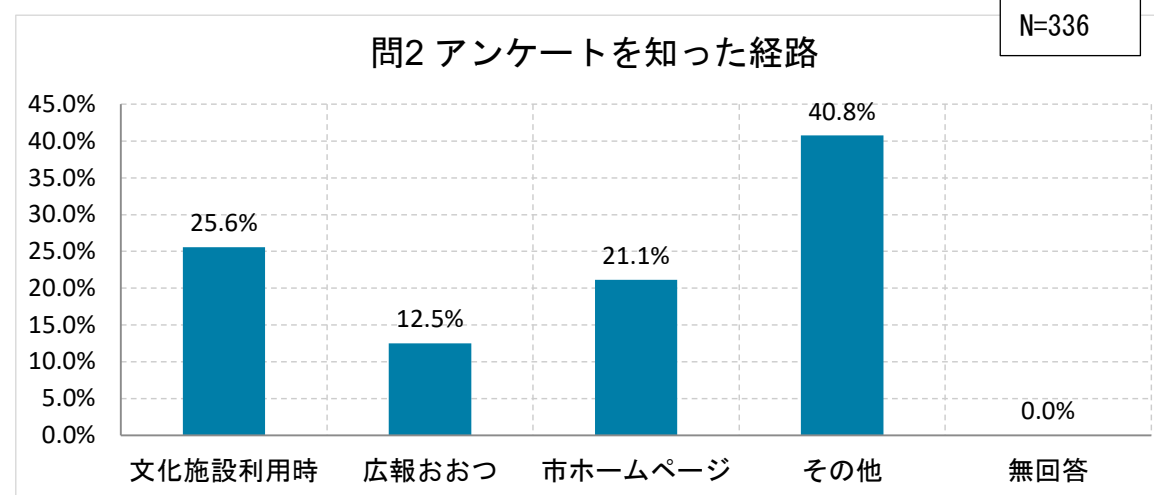
分析：

- ・健康状態の平均は 6.60 点で、7 点 21.4%、8 点 23.8%となっており、7～8 点を中心に比較的高い評価が多い。7 点以上は 59.5%を占める。
- ・一方、5～6 点も 26.2%、0～4 点も 14.1%みられ、健康状態については回答者による差が比較的大きい。

<社会とのつながり>

分析：

- ・社会とのつながりの平均は 6.39 点で、幸福度（6.89 点）および健康状態（6.60 点）を下回り、3 指標の中では最も低い。回答は 5 点が 21.1%で最も多く、7 点 18.8%、8 点 19.3%と続いている。7 点以上は 52.1%で、一定のつながりを感じている回答者が過半を占める。
- ・一方で、5～6 点の回答も 34.5%、0～4 点も 13.2%みられ、幸福度・健康状態同様、社会とのつながりを感じている度合いにも個人差がみられる。



分析：

- ・アンケートを知った経路は「その他」が40.8%で最も多く、中でもLINE（32.7%）が多くなっている。次いで「文化施設利用時」が25.6%、「市ホームページ」が21.1%、「広報おおつ」が12.5%となっている。文化施設での接点に加え、市ホームページやLINEなどのデジタル媒体も主要な情報経路となっている。

【その他回答】

- ・大津市からのLINE（110件）
- ・紹介
- ・友達の紹介
- ・先生からの紹介
- ・スカイプラザ
- ・展示を見たあとにテーブルにあった
- ・三橋節子美術館

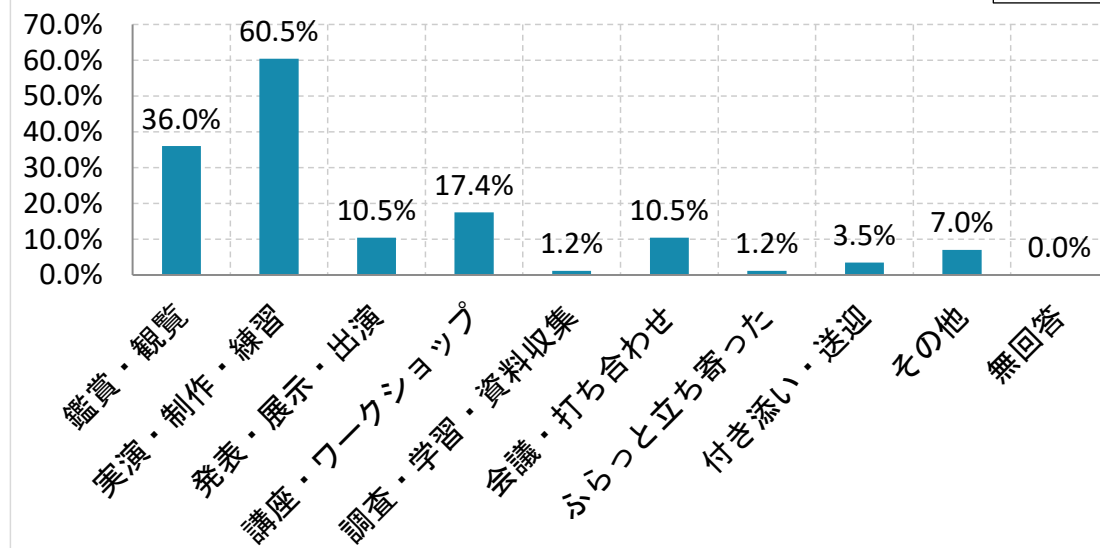
2 文化芸術との関わり

まとめ：

- ・文化芸術の鑑賞場所は、市内文化施設（62.8%）と市外での鑑賞（63.7%）を中心に、市内の屋外空間（33.3%）や自宅（39.6%）にも広がっている。鑑賞分野も、音楽、美術・写真・工芸・書、映画・アニメ・マンガ、地域の伝統行事・歴史文化など多岐にわたっている。
- ・文化施設は鑑賞だけでなく、実演・制作・練習（60.5%）の場としても利用されている。鑑賞以外の活動では、習い事・講座・ワークショップへの参加（36.0%）が最も多い一方、「行っていない」も36.0%を占める。活動のきっかけは家族・友人等からの誘い（49.1%）や文化芸術の鑑賞（44.9%）が多く、今後は一人でも参加しやすい雰囲気や、初心者に参加しやすい環境、鑑賞・参加機会の拡充が求められる。

問3 文化施設に来訪した主な目的（複数回答）

N=86※



分析：

- ・文化施設利用者 86 人の来訪目的は、「実演・制作・練習」が 60.5%で最も多く、「鑑賞・観覧」は 36.0%となっている。文化施設は、作品や公演を鑑賞する場にとどまらず、実際に活動する場としても利用されている。

- ・このほか、「講座・ワークショップ」17.4%、「発表・展示・出演」10.5%、「学習・資料収集」10.5%となっており、学習や制作、発表など複数の目的で利用されている。

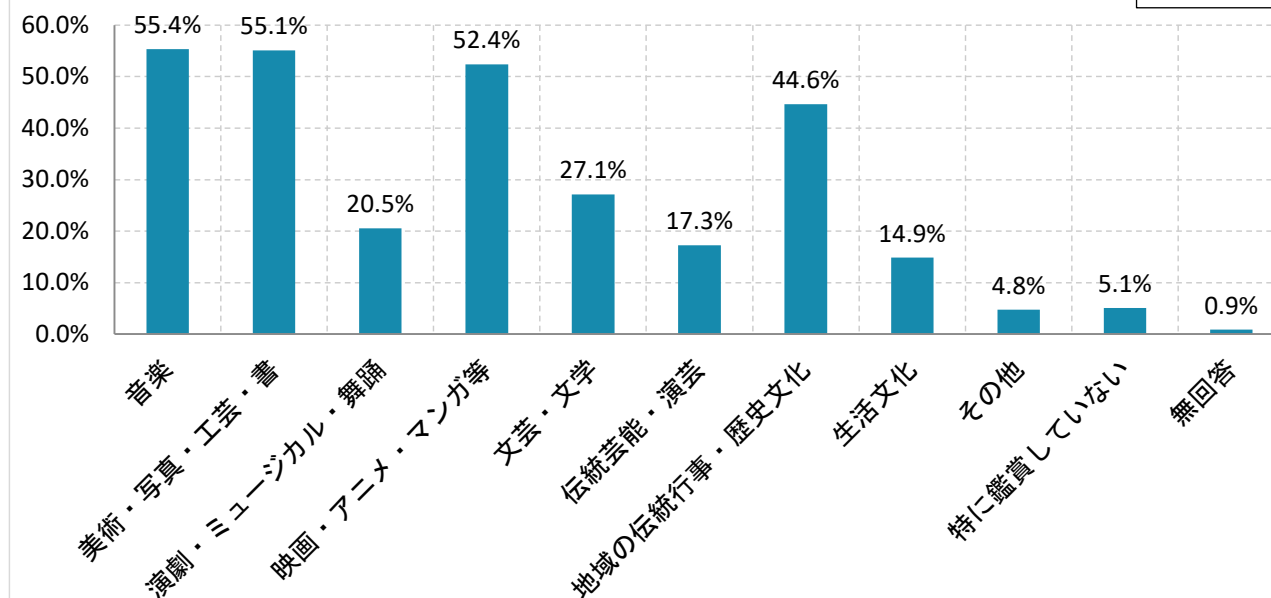
【その他回答】

- ・洋裁教室
- ・施設利用の申し込み
- ・スカイプラザ予約
- ・絵手紙教室

※問2で「文化施設利用時」と回答した人のみ回答

問4 この1年間に鑑賞した文化芸術の分野（複数回答）

N=336



分析：

- ・鑑賞した分野は、「音楽」が 55.4%、「美術・写真・工芸・書」が 55.1%、「映画・アニメ・マンガ等」が 52.4%となっており、いずれも半数を超えている。また、「地域の伝統行事・歴史文化」も 44.6%となっており、一般的な芸術鑑賞に加え、地域の歴史や伝統文化も鑑賞対象となっている。

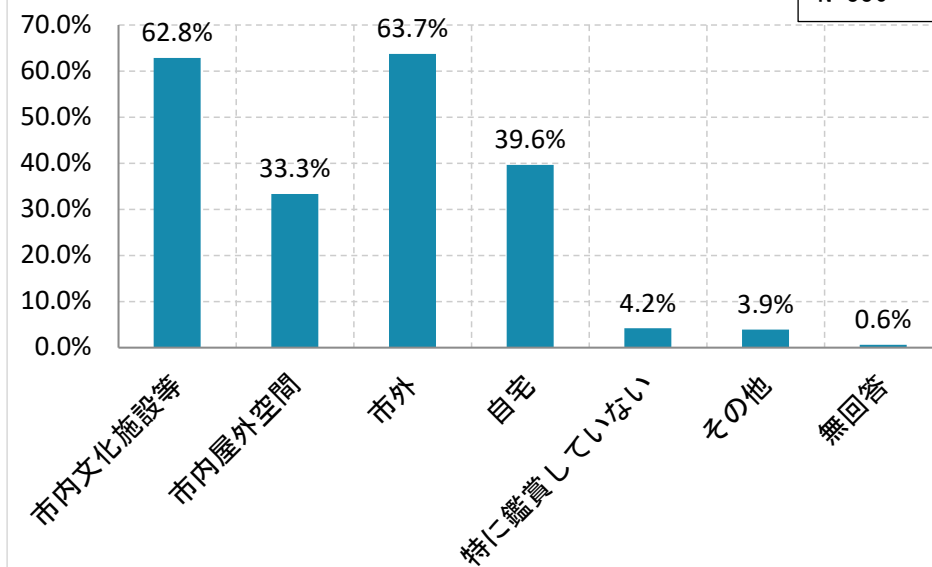
- ・このほか、「文芸・文学」27.1%、「演劇・ミュージカル・舞踊」20.5%、「伝統芸能・演芸」17.3%、「生活文化」14.9%となっている。その他回答にも、香道、フォークダンス、スポーツ観戦、プラネタリウム、寺社訪問、祭りなどが挙げられており、文化芸術の鑑賞対象は幅広い。

【その他回答】

- ・香道、・麻雀、・歴史博物館・科学館、・スポーツ観戦、・フォークダンスのパーティー、・プラネタリウムを利用した、・スポーツ観戦、・尺八・琴・三絃演奏会、日本民謡会、・夏祭り、・植物園、・膳所を舞台にした小説のお蔭で、普段交流のなかった関東の甥・姪達に聖地案内を通じて、改めて自分自身の再勉強になっています、・社寺訪問、・若い時は書道、短歌、俳句を習ってカーブスにも通っていましたが、3年前病気で辞めました。することもなくテレビ三昧、・三井寺、石山寺、大津祭、・寺社の法要や儀式

2 文化芸術との関わり（続き）

問5 この1年間に文化芸術を鑑賞した場所
（複数回答）



分析：

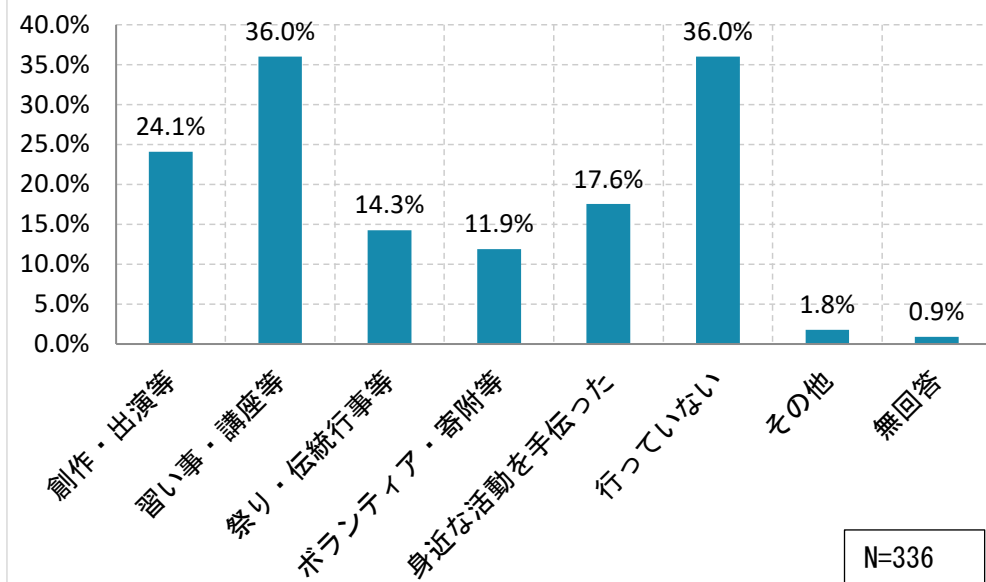
・鑑賞した場所は、「市内文化施設・ホール・美術館・博物館等」が62.8%、「大津市外での鑑賞」が63.7%となっており、市内・市外ともに同水準となっている。

・また、「自宅」が39.6%、「市内の屋外空間」が33.3%となっており、文化芸術は施設内に限らず、屋外や自宅でも鑑賞されている。その他には、京セラ美術館、歌舞伎座、大阪城ホール、海外、カフェなどが挙げられており、鑑賞場所は市内外の多様な場に広がっている。

【その他回答】

・京都市、外国など、・京セラ美術館、・歌舞伎座、大阪城ホール、・皇子が丘公園体育館、・イタリア、・仰木の里自治会館、・聖書のメッセージ、・カフェ、・わからない、・今月大津市民になったので、答えはすべて以前の住居でのこと、・京都市内文化施設

問6 鑑賞以外の文化芸術活動・支援（複数回答）



分析：

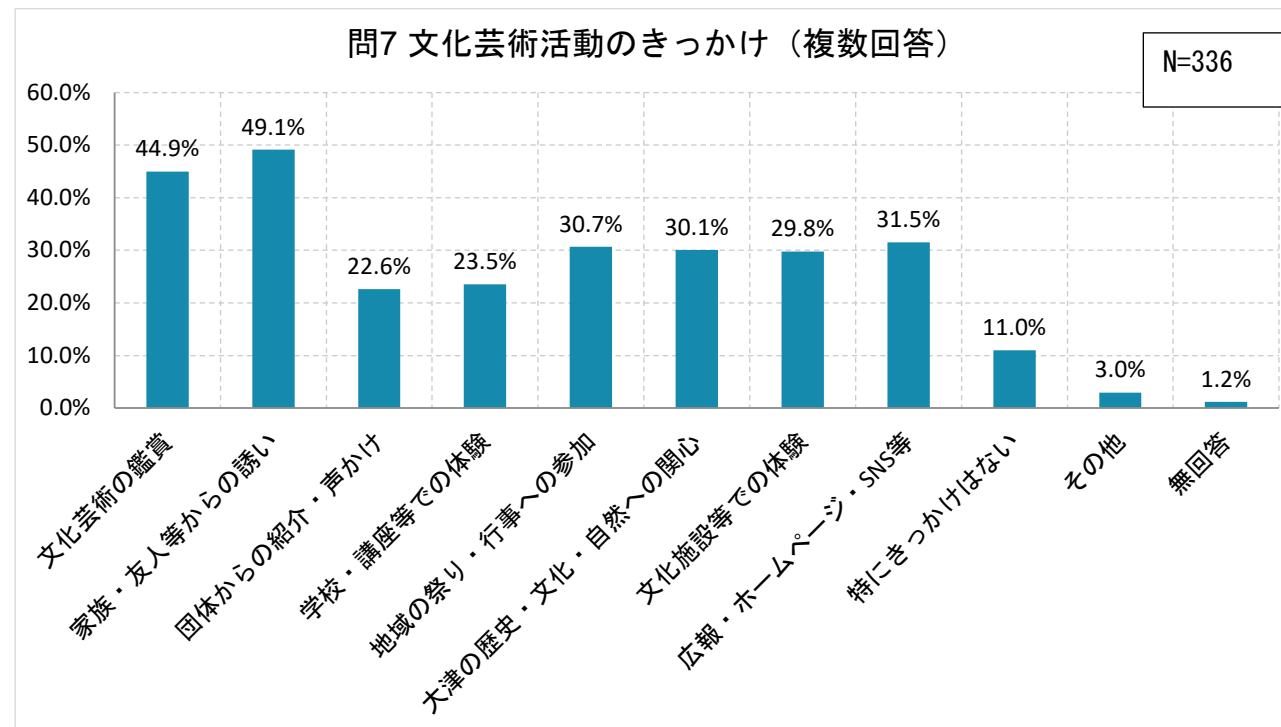
・鑑賞以外の活動では、「習い事・講座・ワークショップへの参加」と「行っていない」がともに36.0%で最も多い。「創作・出演・出品・演奏・執筆等」は24.1%となっており、鑑賞に加えて、学習や創作を通じて文化芸術に関わる人も一定数みられる。

・このほか、「身近な地域での活動」17.6%、「祭り・伝統行事・文化財保存等への関わり」14.3%、「ボランティア・寄附等」11.9%となっている。地域行事への参加や活動支援など、文化芸術との関わり方は幅広い。その他には、古文書の解説や伝統芸能・伝統文化の指導なども挙げられている。

【その他回答】

・歴史や文化財に関する報告や講演をおこなった、・フォークダンス、・仕事が文化・芸術関係、・古文書の解説、
・伝統芸能の指導に携わった、・伝統文化の指導

2 文化芸術との関わり（続き）



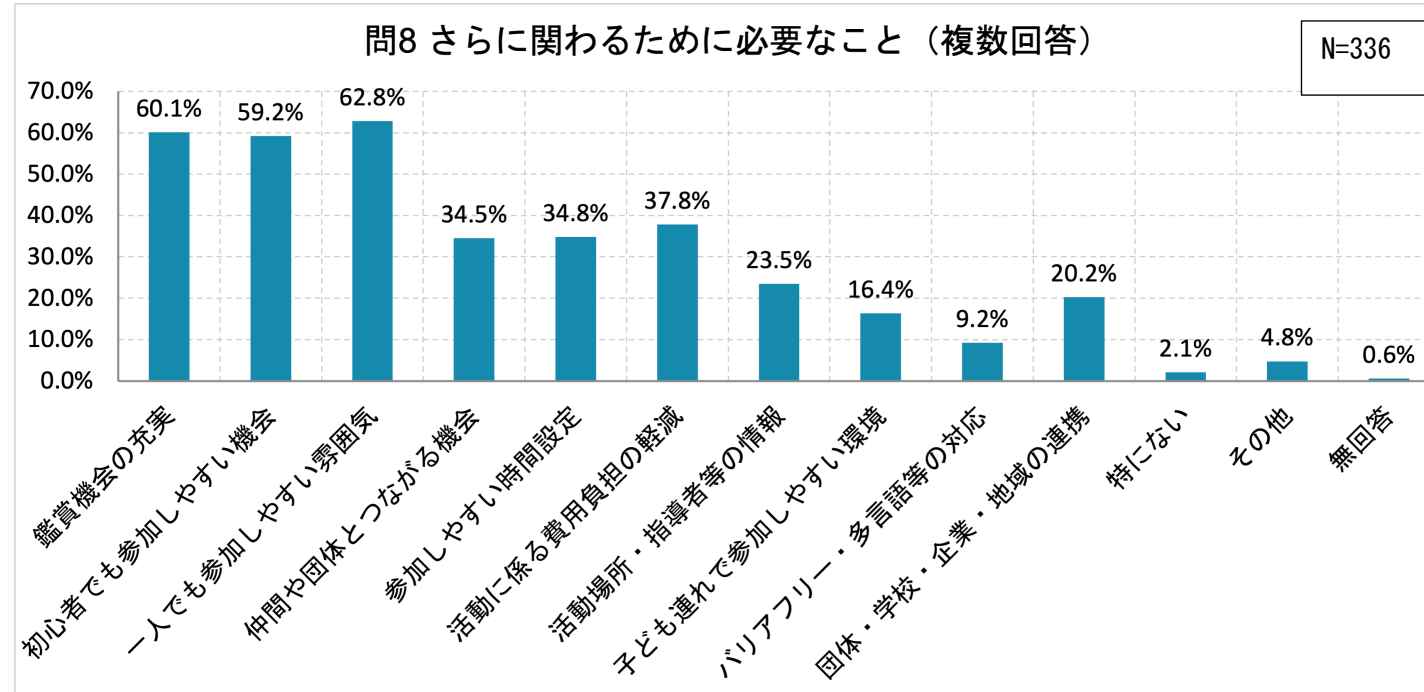
分析：

・文化芸術活動のきっかけは、「家族・友人・知人・仲間からの誘い」が49.1%で最も多く、「文化芸術の鑑賞」も44.9%となっている。身近な人からの誘いや、鑑賞経験が活動への入口となっていることが分かる。

・このほか、「広報誌・ホームページ・SNS等」31.5%、「地域の祭り・行事への参加」30.7%、「大津の歴史・文化・自然への関心」30.1%、「文化施設・文化団体等での体験」29.8%となっている。個人の関心だけでなく、地域行事、情報発信、施設での体験など、複数の接点が活動につながっている。

【その他回答】

- ・文化や芸術をテーマにした映画やイベント、ならびにそれらを案内紹介する広報物、
- ・自身で企画、・自身が奏者なので、・年齢的にフレイルが気になったこと、
- ・自分になかに、そういった時間が必要と感じた（タイミングと休暇が）あったから。
- ・子供の頃始めた習い事の継続、・障害者施設（就労継続支援B型）で公募された夏の作品展に、自分自身が撮影した動画と写真を編集して出品しました。
- ・児童合唱団に入団したことより、・大津市居住前から活動、そして継続している、
- ・したことない



分析：

・文化芸術活動にさらに関わるために必要なことは、「一人でも参加しやすい雰囲気」が62.8%で最も高く、「鑑賞機会の充実」60.1%、「初心者でも参加しやすい環境」59.2%が続いている。参加機会の量だけでなく、初めての人や一人で参加する人が感じる心理的な負担を軽減することが求められていることがわかる。

・また、「活動に係る費用負担の軽減」37.8%、「参加しやすい時間設定」34.8%、「仲間や団体とつながる機会」34.5%となっている。参加費、時間帯、人とのつながりといった具体的な条件の整備も、継続的な参加を促す上で重要である。その他回答では、活動情報を一覧できる仕組み、身近な施設の充実、図書館へのアクセス改善などが挙げられている。

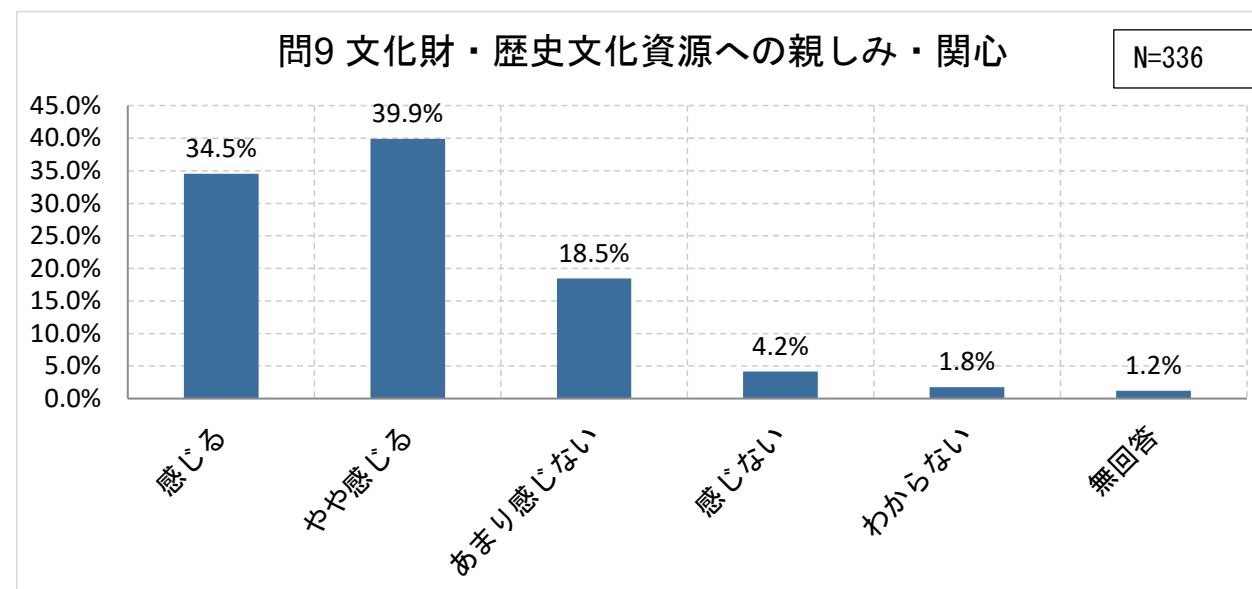
【その他回答】

- ・初心者向け講座の充実、地元作家の過度な持ち上げの抑制、・文化芸術団体・活動を一覧できる情報の提供、・身近な文化芸術施設の不足、・湖西方面の体育館整備、・文化施設の充実、・図書館を含む文化施設の充実、学習機会・対象世代の拡大、・高齢者が参加しやすい文化行事や情報の提供、・料理教室や習字などの活動を中止、・身近な場所での活動機会の拡充、駐車場・交通手段の確保、・文化活動には関わりたいと思わない、・広報誌による無料拝観制度の再実施、・市立図書館のアクセス改善と利用環境の充実、・大津市民会館のトイレ・座席等の改修、・内容が分かりやすい

3 文化資源・文化環境

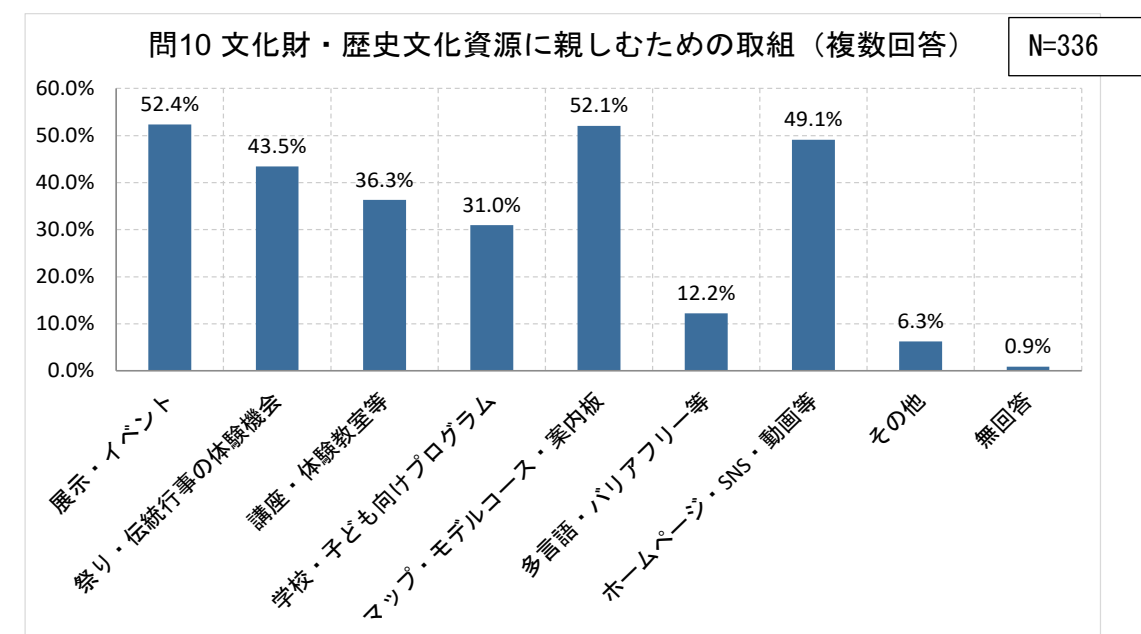
まとめ：

- ・景観資源については 89.0%、歴史文化資源については 84.2%が豊かだと肯定的に評価している。一方、「市民の文化活動が盛ん」の肯定は 31.9%にとどまり、否定は 58.7%となっている。また、学校教育で文化に触れる機会の肯定も 28.6%にとどまり、文化資源の豊かさが市民活動や学習機会に十分結びついていない状況がうかがえる。
- ・文化財や歴史資源に親しむために今後必要だと感じる取組として、展示・イベント、文化資源を巡るマップやモデルコース、ホームページ・SNS 等による情報発信が上位となっている。
- ・満足度では、鑑賞や活動の機会・場所・情報について「普通」が最も多い一方、特に情報面で不満が目立つ。「文学のまち大津」は、名称を知っている・聞いたことがある回答が 71.7%あるが、内容まで知っている回答は 46.1%にとどまる。今後は、文学を含む文化資源の魅力を分かりやすく発信するとともに、鑑賞・参加・学習につながる具体的な機会を整えることが重要であると言える。



分析：

- ・文化財・歴史文化資源について、「感じる」「やや感じる」を合わせた肯定的な回答は 74.4%となっており、一定の親しみや関心を持つ回答者が多い。
- ・一方、「あまり感じない」「感じない」は 22.7%となっており、関心が十分に形成されていない層も一定数存在する。



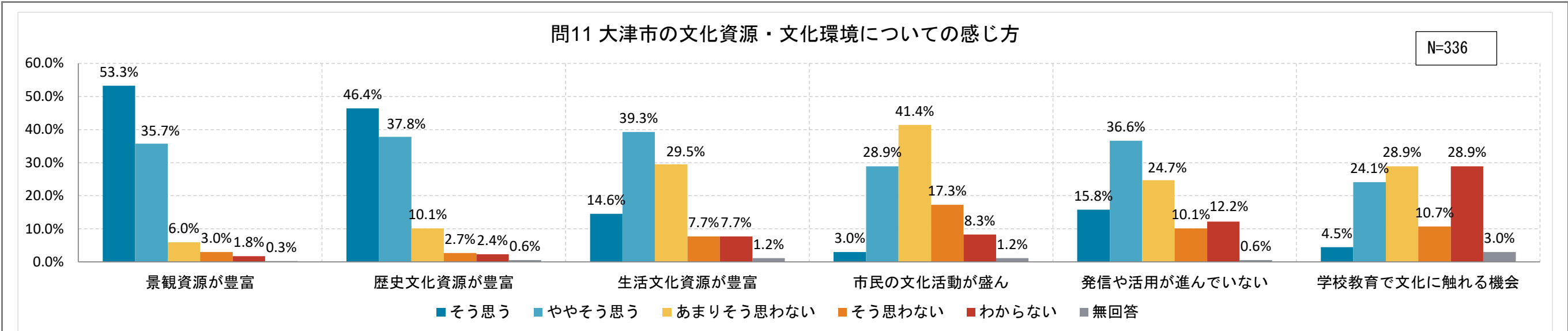
分析：

- ・文化財・歴史文化資源に親しむために必要だと思う取組は、「展示・イベント」が 52.4%、「マップ・モデルコース・案内板等の整備」が 52.1%、「ホームページ・SNS・動画等による情報発信」が 49.1%となっている。文化資源を知るための情報発信と、実際に訪れるための案内の両方が求められている。
- ・また、「祭り・伝統行事の体験機会」43.5%、「講座・体験教室」36.3%となっており、展示を見るだけでなく、祭りや体験を通じて文化資源に触れる機会へのニーズも見られる。

【その他回答】

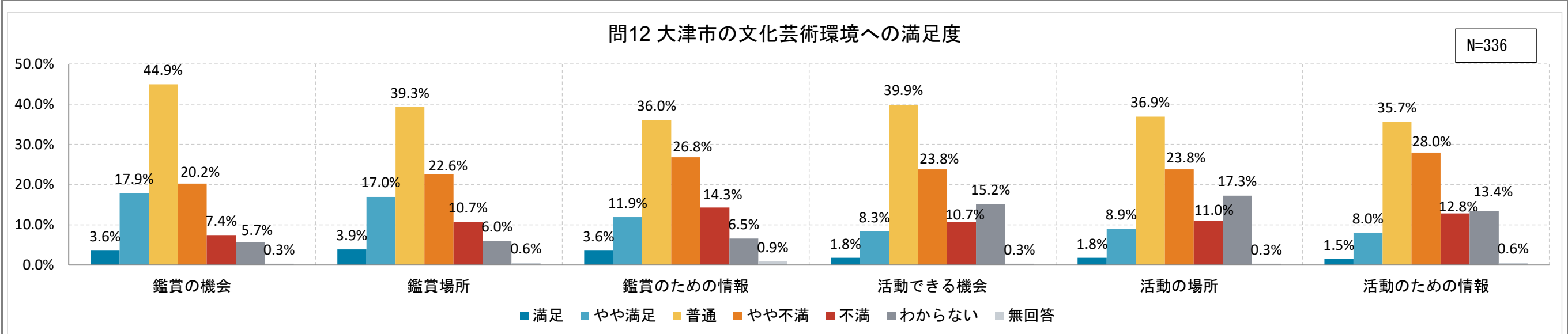
・移動手段と現地の居心地の改善、・駅等での情報展示、・「月」「龍」をテーマにした文化資源の発信、・交通・駐車場・トイレ案内の充実、・観光施設へのアクセス改善と文化伝承の発信、・謎解き・スタンプラリー等の実施、・芸術祭の開催、・北部地域の施設・イベント拡充、・低価格で参加できるイベント、・歩道の整備、・住宅地での平日イベント開催、・発信側の理解促進、・低コストの取組、・まち歩きイベント、・無料公開、・文化財行政の透明性と適切な予算執行、・地域の祭りへの参加案内、・社寺周辺の魅力向上と交通改善、・歴史文化遺産の子ども向け冊子、・書籍による情報発信、・特になし

3 文化資源・文化環境（続き）



分析：

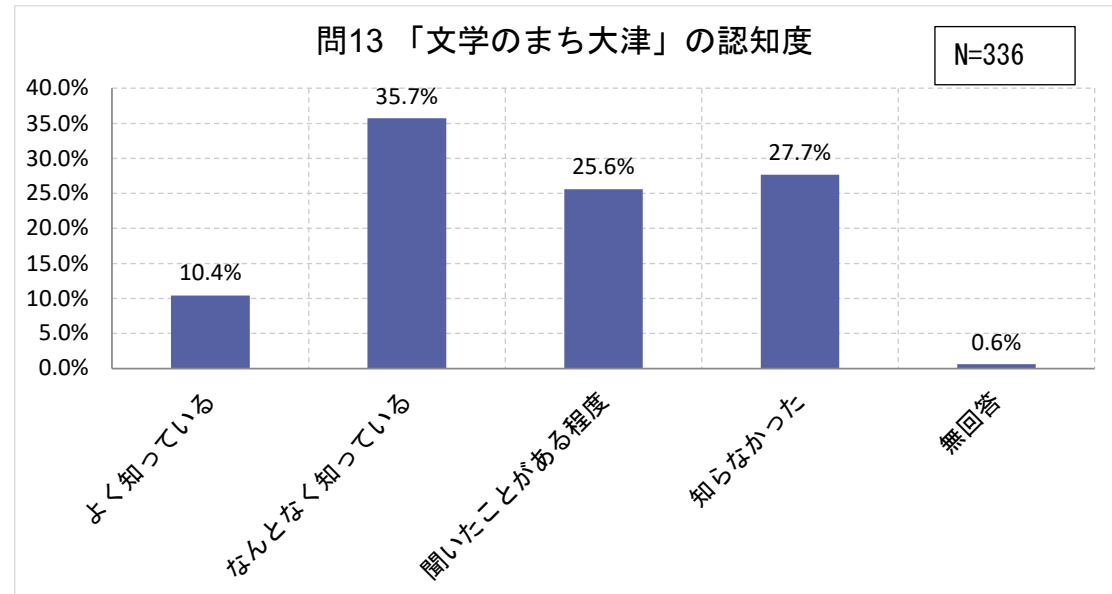
- ・「景観資源が豊富」は 89.0%、「歴史文化資源が豊富」は 84.2%が肯定的(そう思う、ややそう思う)に回答しており、大津市の景観や歴史文化資源の豊かさは広く認識されている。また、「生活文化資源が豊富」も 53.9%が肯定的に評価している。
- ・一方、「市民の文化活動が盛ん」の肯定は 31.9%にとどまり、否定（あまりそう思わない、そう思わない）は 58.7%となっている。また、「文化資源の発信や活用が進んでいない」と感じる回答も 52.4%に達している。資源の豊かさに対する評価に比べ、実際の市民活動や情報発信・活用への評価は低いことがわかる。
- ・「学校教育で文化に触れる機会がある」は肯定 28.6%に対し、否定 39.6%、わからない 28.9%となっている。



分析：

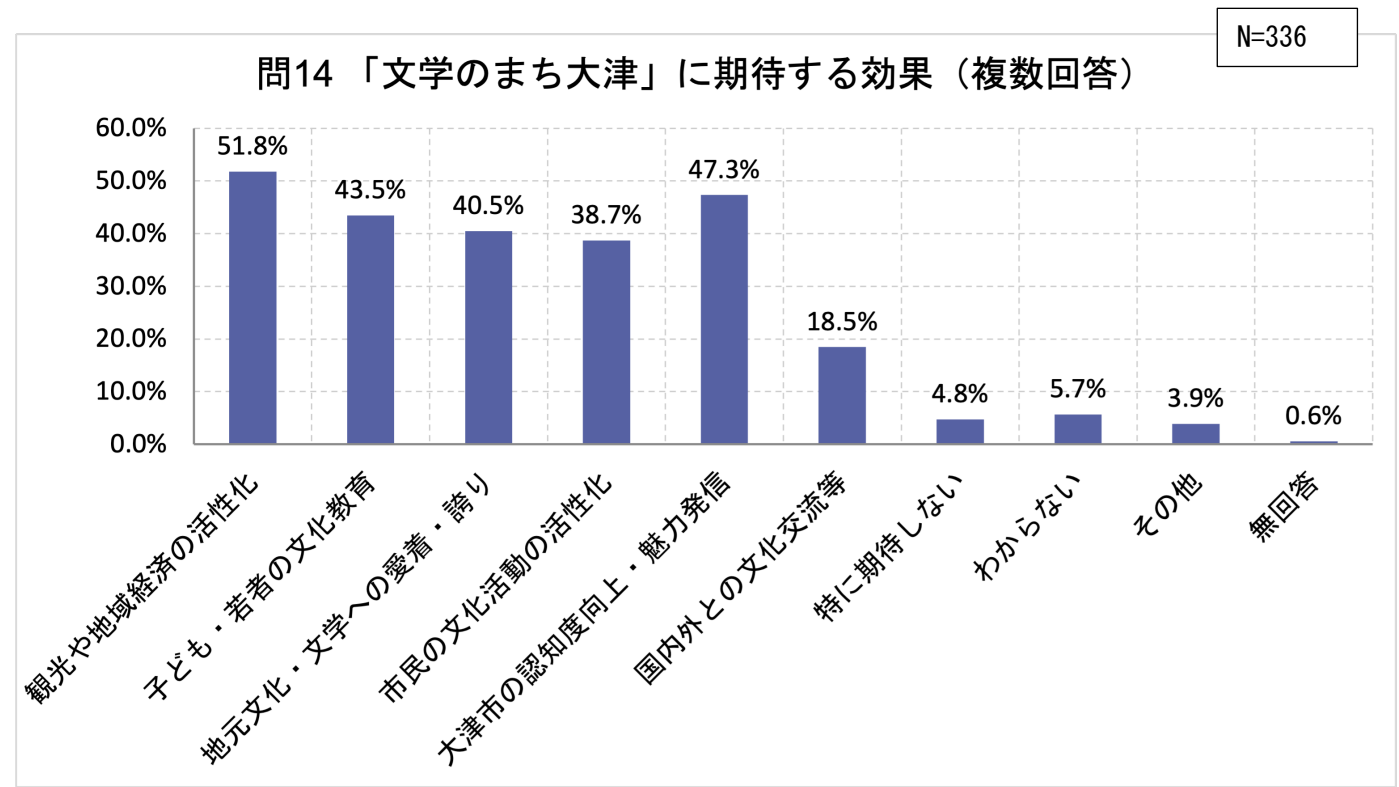
- ・各項目では「普通」が最も多く、満足・不満のいずれかに明確に評価が偏っている状況ではない。満足・やや満足は、「鑑賞の機会」が 21.5%、「鑑賞場所」が 20.9%となっている。
- ・一方、不満・やや不満は、「鑑賞のための情報」が 41.1%、「活動のための情報」が 40.8%と、情報面で特に高い。また、「活動の場所」34.8%、「活動できる機会」34.5%、「鑑賞場所」33.3%となっている。

3 文化資源・文化環境（続き）



分析：

- ・「文学のまち大津」について、「よく知っている」「なんとなく知っている」を合わせた回答は46.1%となっており、約5割弱の回答者が取組を認知していることが分かる。また、「聞いたことがある程度」まで含めると71.7%となり、名称自体は一定程度知られていることが伺える。
- ・一方、「聞いたことがある程度」が25.6%、「知らなかった」が27.7%となっていることから、名称を認知していても、取組の内容まで理解している層は限られていると言える。



分析：

- ・期待する効果は、「観光や地域経済の活性化」が51.8%で最も高く、次いで「大津市の認知度向上・魅力発信」47.3%、「子ども・若者の文化教育の充実」43.5%、「地元文化・文学への愛着・誇り」40.5%、「市民の文化活動の活性化」38.7%となっている。
- ・「文学のまち大津」には、観光振興や情報発信だけでなく、子ども・若者の学び、地域への愛着、市民の文化活動の活性化につながることを期待されていることがわかる。一方、「国内外との文化交流」は18.5%にとどまっている。

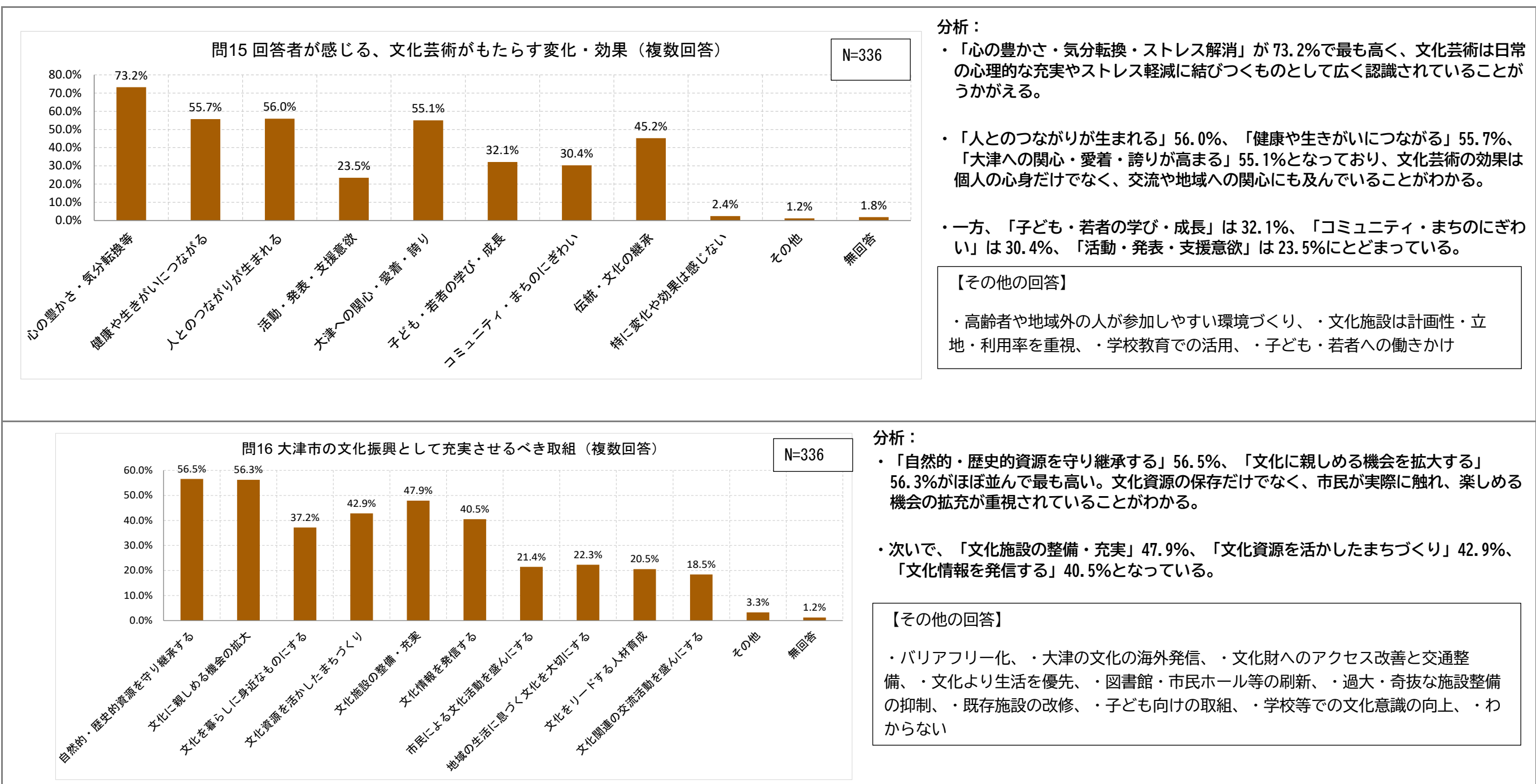
【その他の回答】

- ・文学と日常生活の結びつきや大津独自の魅力を感じない、
- ・文学・創作を行政が推進する意義に疑問がある一方、歴史資源の活用には賛成、
- ・文化・文学資源を子どもが知り体験する機会の拡充、
- ・文化情報の発信不足、
- ・情報や文化活動が届きにくい、
- ・図書館の充実、
- ・「文学のまち」の周知不足、
- ・取組をシンプルで分かりやすくする、
- ・市立図書館の施設・立地改善、
- ・明日都浜大津への図書館移転、
- ・「文学のまち大津」を観光と結びつけ幅広い世代・地域へ広げる、
- ・行政の取組に物足りなさ

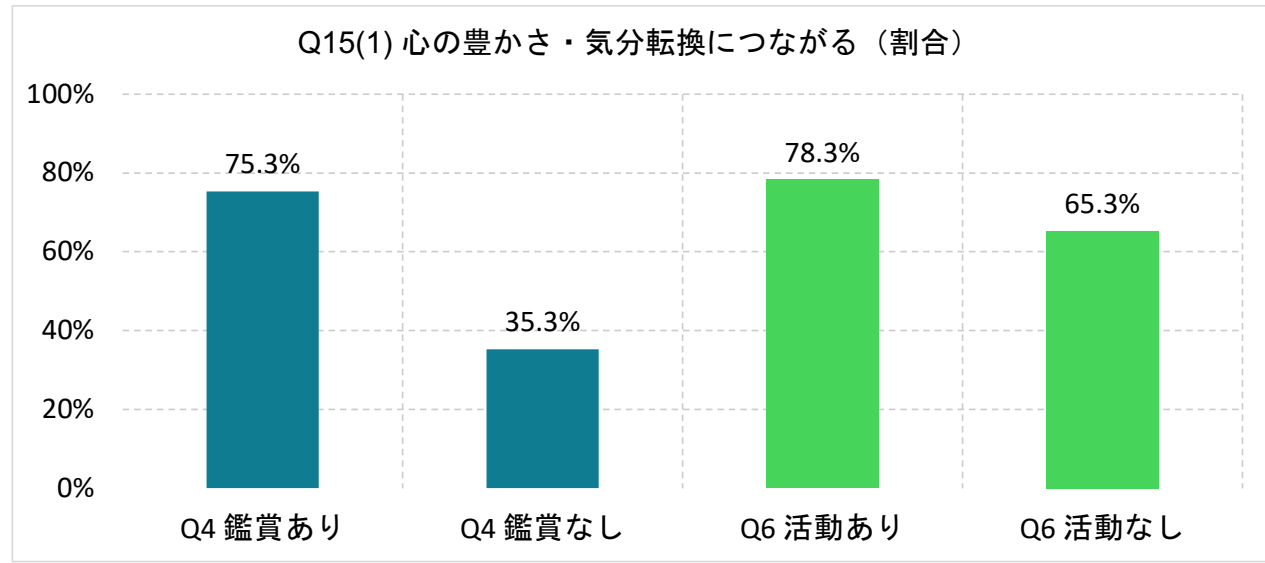
4 文化芸術の効果と今後の取組

まとめ：

- ・文化芸術による変化・効果は、「心の豊かさ・気分転換・ストレス解消」が73.2%で最も高く、「人とのつながりが生まれる」56.0%、「健康や生きがいにつながる」55.7%、「大津への関心・愛着・誇りが高まる」55.1%と続く。文化芸術は、個人の心理的充実に加え、人との交流や地域への関心にもつながるものと捉えられていることがわかる。
- ・今後充実させるべき取組については、「自然・歴史的資源の保全・継承」56.5%と「文化に親しめる機会を拡大する」56.3%が重視されている。これに「文化施設の整備・充実」47.9%、「文化資源を活かしたまちづくり」42.9%、「文化情報を発信する」40.5%が続き、資源の保存と、誰もが利用・参加しやすい環境づくりが求められていると言える。



5 鑑賞・活動経験の有無によるクロス分析

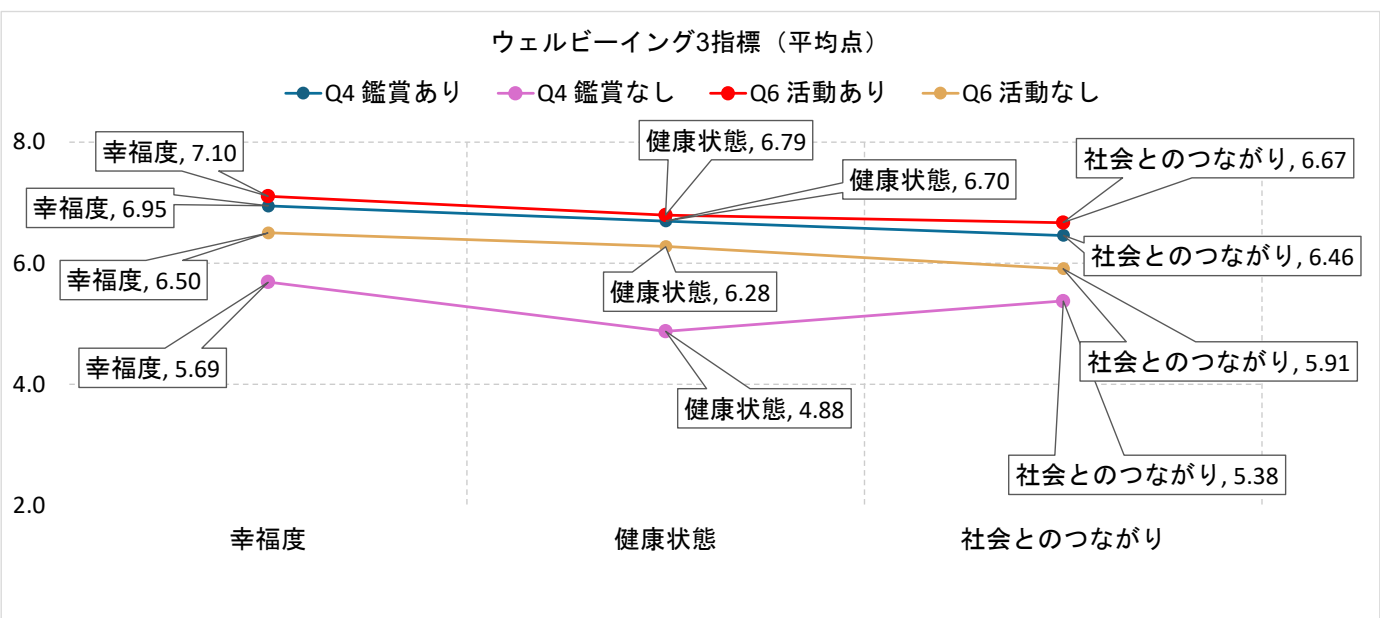


Q15(1) 心の豊かさ・気分転換につながると回答した割合			
区分	該当者数	選択者数	割合
Q4 鑑賞あり	316	238	75.3%
Q4 鑑賞なし	17	6	35.3%
Q6 活動あり	212	166	78.3%
Q6 活動なし	121	79	65.3%

全体回答数＝336（クロス対象 333）

分析：

- ・問15で文化芸術が「心の豊かさ・気分転換・ストレス解消につながる」と回答した割合は、問4で鑑賞経験があると回答した人が75.3%、鑑賞経験がない人が35.3%となり、鑑賞経験者の方が40.0ポイント高い。（鑑賞経験なしの該当者数は17件と少ないため留意すること）
- ・問6で文化芸術活動を行ったと回答した人は78.3%が、文化芸術が「心の豊かさ・気分転換につながる」と回答しており、行っていない人は65.3%となっている。活動を行った人の方が13.0ポイント高い。
- ・文化芸術との接点がある人ほど、文化芸術が心の豊かさや気分転換につながると回答する傾向がみられる。



ウェルビーイング3指標（0～10点の平均）				
指標	Q4 鑑賞あり	Q4 鑑賞なし	Q6 活動あり	Q6 活動なし
幸福度	6.95	5.69	7.10	6.50
健康状態	6.70	4.88	6.79	6.28
社会とのつながり	6.46	5.38	6.67	5.91

ウェルビーイング指標の有効回答数				
指標	Q4 鑑賞あり	Q4 鑑賞なし	Q6 活動あり	Q6 活動なし
幸福度	316	16	212	120
健康状態	316	16	212	120
社会とのつながり	316	16	212	120

全体回答数＝336（クロス対象 333）

分析：

- ・ウェルビーイング指標では、鑑賞経験者の平均点が、幸福度6.95点、健康状態6.70点、社会とのつながり6.46点であるのに対し、鑑賞経験がない人はそれぞれ5.69点、4.88点、5.38点となっている。3指標すべてで鑑賞経験者の方が高い。
- ・活動を行った人の平均点が、幸福度7.10点、健康状態6.79点、社会とのつながり6.67点で、活動を行っていない人の6.50点、6.28点、5.91点をいずれも上回っている。活動を行った人は、特に社会とのつながりで比較的大きな差がみられる。
- ・以上から、鑑賞・活動の経験がある人は、経験がない人に比べて、ウェルビーイング3指標の平均点がともに高い傾向にある。（ただし、鑑賞経験がない人は有効回答数が少ないため、数値の差は因果関係ではなく、回答上の関連として留意すること）

6 自由回答 （※回答内容の趣旨を損なわない範囲で、明らかな誤字・脱字等を修正しています。）

○文化資源の保全・活用とプロモーション

- ・大津市の豊富な歴史・文化資源について、観光やまちづくりへの活用、分かりやすい情報発信、行政・市民・団体の連携を求める回答が見られる。また、伝統を守るだけでなく、現代の需要に合わせた新たな活用や、海外を含めた発信を求める意見もある。

・大津市には歴史文化があり、魅力の発信で観光振興につながるという強い思い込みには疑問がある。 市民憲章にあるように、旅の人を迎える環境・手段・心が不足しているのではないか。 一発芸で大河ドラマの度に大きな予算をつかって事業をするのではなく、定常的な取組と環境整備も大事にしてほしい。 ・文化財の保護や、文化財の保護に携わる人財の確保と育成の予算枠を増やしてほしい。一時的には支出は増えますが、中期的に見て観光収入を増やす事にもなり、適正で安定的な税収を確保出来るのではないでしょうか。 ・プロに依頼してトータルプロデュースしてもらってはどうか ・大津市には豊富な文化資源がある一方で活用は中々進んでいるとは言い難い。文化に携わる団体や個人を有機的につなぎ合わせ、連携をとりながらそれぞれの強みを発揮できるように市がリーダーシップをとって調整を進めないといけない。個別の活動では文化にあまり関心のない市民や、文化に関心があっても遠方に住んでいる人には届かない。とりわけ、外国へのアプローチが決定的に欠けており、外国人観光客への認知度が低い。大津の文化や大津の良さを行政と市民が協力してデザインし、アピールしていくことが大切だ。 ・情報発信のため、施設に閉じるのではなく、観光地や集客施設に発信基地を設けるべきだと思います。 ・守る事も大切だけど守ることばかりに執着せず新しい時代や需要にあった活動をしてほしい ・ターゲットを明確にし、景観や文化的価値をアピールするべきだと思います。例えば、アニメ・コスプレ界のイベント誘致や、大津市に関わる歴史人物検定など。自転車専用道路も整備をさらに進めてほしい。 ・大津湖南地域の5市のうち、一番文化振興につながる様々な歴史的資産が多く、山や湖に近いという地理的環境にも恵まれており、市民はその有り難みを知って、自身の行動に繋がるように、バックアップする計画を策定されたい。 ・広報を盛んにし、大津そのものの知名度をあげる。全国、世界に。 ・これからも、史跡や文化を守っていける大津市であってほしいです ・琵琶湖ホールのイベント拡充と PR、特に幅広いクラシック系を。 ・大津市の文化振興が市政として全く感じられない。一担当者の仕事としか感じられない。全体感全くなし。県内の他市に較べても見劣りする。（私の知る限り多数の人からも同意見を数多く聞いている。） ・大津市の文化を海外にもアピールする。 ・大津には歴史的な神社仏閣があることや旧東海道があることを知ってるようで知らない方が多い。例えば旧東海道を知らせるプレートなどもっと分かりやすく設置するなど、整備すべきだと思います。伝統芸能についてももっとお知らせがあってもいいと思います。 ・今行われていることが継続されることが大事だと思う。 ・歴博企画展はとてもレベルが高いと思います。美術が好きなので、県立美術館にもっとみんなが好きそうな（有名でなくてもいいので）芸術家の企画を呼べるよう、頑張してほしいです。大津市にあるので、県立だけど、大津の文化レベルにも影響があると思います。
--

○文化施設・交通アクセス・地域間格差

- ・図書館やホールなどの文化施設の老朽化・不足、駐車場や公共交通の不便さ、南北地域間の機会格差を指摘する回答が多く見られる。特に、既存施設の改修や、利用しやすい立地・設備の整備を求める意見が目立つ。

- ・人とのつながりがなければ知らなかったり、知識がなければ関われなかったりする気がします。もっと身近になれば、関わりたいという興味はすごくあります。情報発信や、参加しやすい街の環境も整えてほしいです。大津駅前は見晴らしがよく、広くて良い場所なのに、長年、県内はもちろん他県からも寂れた印象を拭えず、恥ずかしいと感じるときさえあります。明るく栄えた歴史ある街としての玄関口となるよう、駅前開発をしてもらいたいです。長年の印象を拭えていないのは大変不満です。「本当に県庁？」というのが、県政・市政の評価だと感じています。頑張ってください。
- ・もっと民間の文化施設が充実すると思います。
- ・文化振興には図書館や市民会館の再整備が必要だと思います。立地が良いので、ぜひともご検討ください。
- ・施設やイベントなどが北大津にはほとんどない。京都市出身ですが、幼少のころから、文化芸術等に親しむ機会が学校や地域を通じてあったが、大津にはない。ドラッグストアやスーパーばかりが乱立している堅田周辺で、もっと文化施設や教育施設がないと、子育て世代は大津市には住めないし、高齢者でも楽しくないので、京都市内に戻ります。文化は生きていくために必要。防災などとともに、もっと行政が総合的な土地開発において文化施設に関与すべき。
- ・マンションばかり建って街は空洞化しつつある。老朽化した施設の修繕や建て替え、新規施設の建設などを早急に行い、現代に合う文化施設を整備して、豊かに住める街づくりをしてほしい。
- ・守山のような、清潔感のある明るい図書館、喫茶やレストランを備え、催し物なども開催される場所が琵琶湖の辺りにあれば最高です。大津市の図書館は位置的にも、建物の古さから、本も不潔な感じがして利用する気になれません。
- ・湖西方面には、何かを開催したり、発表したりできる場所が少ないのが残念です。例えば、北部地域センターの催しには積極的に参加させていただいていますが、駐車場が少ないので困ります。浜大津まで行くには、公共交通機関だと乗り換えもあり不便です。なぎさ公園でのイベントには、有料でよいので、大津京からシャトルバスを出してもらえると嬉しいです。
- ・草津市に比べて施設が古く、設備も古い。
- ・建築中の琵琶湖文化館には期待しています。ここを拠点とした文化活動を行うために、予算も人的資源も思い切って投入していただきたい。
- ・大津市は南北に長いので、図書館の南郷分館はとても助かっています。いろんなワークショップも浜大津ばかりでなく、南部でも開催されればうれしいです。
- ・伝芸でイベントをするのですが、トイレ設備が少なくて休憩時間内に収まりません。毎年困っています。
- ・文化振興の一丁目一番地として、他の市町の模範となる図書館など文化施設の移転・新築に取り組んでいただきたいです。早急に。
- ・琵琶湖ホールのリニューアルに期待しています。舞台芸術の公演が増えるとうれしいです。
- ・図書館、市民ホール等の刷新。
- ・合唱を40年ほど続けていますが、大津市内での活動（公民館など）に制約があり、施設自体の老朽化で良い音楽活動ができていません。今年から、京都市の文化パートナーシップを受けている国内でも屈指の合唱団に入団しました。京都市内の文化会館と連携することで、市内の会館のホールを借りたり、市民向けコンサートを開催したりと、充実した活動をしています。大津も音楽にもっと身近な街となることを切に望みます。
- ・文化施設が少ない。また、大津市は南北に長いので、駐車場が整備されていると利用しやすいです。
- ・市立図書館のアクセス改善や利用環境の充実を求める意見。
- ・活動するための場所を無料で提供するようにしてください。
- ・車移動が中心であり、さらに利用できる駐車場を増やしてください。
- ・大津市民会館大ホールの公演に来られた方から、トイレのクレームを必ず受ける。近隣の市や関西圏の市町村では、ホール施設の水回りの改修や、築50年以上のホールの改修・建て替えが進む中、「文学」のワードで文化活動を推進されるならば、市民や、他エリアから大津市にご縁を持って来場される方々に、喜んでもらえる施設（ベース）づくりをされるべきだと思います。

・大津市の図書館は駐車場もなく、狭く古い。図書館は街の顔だと思う。ぜひ広く、交通の便のよい場所（車以外で通える）に建て替えてほしい。

○子ども・学校教育・次世代への継承

- ・子どもや若者が幼少期から文化芸術に触れる機会、学校教育における継続的な学習、地域文化を次世代へ継承する取組を求める回答が見られる。特に、専門的な教育や、参加・体験型の機会を重視する意見がある。

・重点は子どもたちの幸福につなげることに置いて欲しいです。大人が楽しむことが子どもたちにつながるのかもしれませんが。伝芸での狂言WSで生きがいをいただきました。ありがとうございます。たくさんの子どもたちにつながることを心から願っております。このようなアンケートを実施してくださりありがとうございます。どうぞ生かされますように。

・子どもたちへの文化芸術教育の専門性（小学校課程での専科教員による教育）

・学校の授業の中で大津市の文化振興に係る時間を設けたら良いと思う。小学校、中学校、高校とそれぞれ段階的に中身のある学習をお願いします。

・今の子供達は盆踊り等の機会が無い為、江州音頭を知らない。例えば「うみのこ」等みんなが参加する機会に知ることが出来れば記憶に残るのではないかな。

・こども達、特に幼児期にコンサートやミュージカルなど文化的な事に触れる事が大切。幼少期の心の記憶は生涯の大切なものになると思う。こども向けのコンサート開催を望む。

・子供の時から本を読む習慣を身につけることや音楽、絵画、演劇、文化芸術講演などに親しむ機会を設ける

・自治会には加入したいが、子どものことにお金がかかる中、年会費のハードルが高く加入できていません。そして、日吉大社には子どもとよくお散歩に行き、子どもも興味は示しています。しかし、地元民であるのに自治会に加入していないと参拝料がかかるので毎回参拝料を払うほどの家計の余裕がありません。近所の1番身近な日吉大社なので、できればお散歩がてら子どもと何度も足を運びたいです。自治会の加入ハードルを下げることや地元民と確認できれば日吉大社に入れるようなルールを検討していただけると幸いです。よろしく願いいたします。

・若い人達は個人の生活を一番に考え地域でのつながりをあまり重要視していない感じがします。子供の頃から自分の生活圏に愛着を持てるような教育の機会を作っていくのも大事なかなとったりします。

・市内の小中高に割引チケット等の配布、もしくは学生証などで長期休みに気軽に鑑賞できるとよいのでは。

・大津市の自然的資源のマップや特徴を整理した資料を提供する。大津市の歴史的資源の年代別のマップや関連図や特徴を整理した資料を提供する。

・子ども・若者への働きかけが必要

○市民参加・活動支援・情報へのアクセス

- ・文化芸術活動への参加について、情報の分かりにくさ、参加のきっかけや人とのつながりの不足、費用・時間・交通面の負担を指摘する回答が見られる。助成金や活動場所の提供、誰でも参加しやすい企画、分野を越えた連携を求める意見も多い。

・なかなか現役世代では、文化芸術に関わる余裕がなく、退職後に文化活動できればと思っています。そのように考えている方は多いのではないのでしょうか。

・先にも書きましたが、大津市や滋賀の文化に関する歴史・現在の活動などについて簡単にまとめて紹介したものがあればよい。また、それらについて活動をしている団体やサークル・グループなどについても知れるパンフレットやホームページのようなものがあればよいと思います。まず知って、参加の仕方が分かれば広がるのではと思います。自分も参加したいです。

・文化のイベントをする時に他のイベントも一緒にするとどちらも楽しめるのでいいと思う

- ・いつも電子図書を利用させていただいています。これまで蔵書が多いことから、県立の図書館を愛用していたのですが、電子図書館がとても便利なので鞍替えしました。体調が悪くても、子供がいても利用できる電子図書は素晴らしく、使い勝手がいいです。暇な時間に思い立ったら本を借りて読めるし、本を読む機会がかなり増えました。欲を言えばもっと本が増えたら嬉しいなと思っています。他の文化振興についても、自宅でネットで勉強できたり、鑑賞できたりしたら、もっと敷居が低くなるのではと思います。
- ・麻雀を広めたいです！
- ・仕事や市民活動で、相談窓口や公共の場所を使わせてもらうことも多いのですが どこもとても親切で助かっています。 助成金等を、もっと身近なものにしていだけたら、活動も広がるのではないかと思います。
- ・演劇やミュージカルなど、市民参加型など大津市ももっと機会を増やしてほしいと思う。 滋賀出身の役者や滋賀在住の役者などたくさんいると思うのですが、市外や県外に出演されているのを多々見るので、そういった方にも参加してもらったり、芸術面も伸ばしてほしい
- ・活動が一部の人に偏っており、かつ開放的でない。非常に閉鎖的である
- ・大津市は文化的環境は多くの観点から恵まれている。また、それをささえる人材や情報も充実していると思う。あとは、個人レベルから異質文化間交流へと平面的広がりがあればいいな～と思う。例えば、異文化間での共通テーマに関するシンポジウム、討論会、コミュニティ作りなど。
- ・もっと誰にとってもわかりやすく、参加したくなるような表現を使って発信したほうがよい。イベント開催も街中ばかり土日ばかりで、参加者は自ずと街中へアクセスしやすい人や土日休みの人に限られる。また、付近の駐車場についても記載がほしい。できればイベントをしっかりと楽しむためにも参加時は駐車場を無料にしてほしい。
- ・独りでも参加出来るような環境整備
- ・鑑賞より関わる機会が増えると嬉しい。コラボ等による楽しみ方が多い中で文化に触れる機会が増えると裾野が広がるように思います。
- ・文化振興に関する取り組みをされていても、その情報を得ることができていませんでした。また、交通の不便なところに住んでいると参加しづらいこともあるかと思います。それらが解消されれば参加したいと強く思います。
- ・鑑賞料が高いクラシックに偏り過ぎで、市民が気軽に音楽を楽しめる機会が圧倒的に不足しています。例えば、栗東さくらなど他市の公共ホールでは音楽のジャンルも様々であり、鑑賞料も高価というほどではなかったり、ワンコインや無料でも気軽に鑑賞できたりします。上から目線で市民に何を見せたいかではなく、市民が求めるものをはっきり言って見習って欲しいと常々思っています。実施してほしい。
- ・神社仏閣への参拝見学割引パスポートを創り、旅行代理店、公共交通機関等で販売する
- ・大津市でも気軽に安価で参加できる芸術祭を開催してほしい。
- ・それぞれがタッグを組んで連携したイベントが必要。

○文化振興の進め方・行政への意見

- ・文化振興の目的や対象を明確にすること、限られた予算を市民に分かりやすく活用すること、行政が市民目線で取り組むことを求める回答が見られる。一方で、文化振興そのものの必要性や、行政による創作活動支援のあり方について疑問を呈する意見もある。

- ・土木工事より文化、芸術にお金を使ってほしい。
- ・とにかく根本から考え直してほしい。文学とは行政が推奨するものなのか、創作活動は推奨される（支援される）べきものなのか、創作をやれば市民一人ひとりが幸せになるのか。
- ・伝統のある活動は残すべきですが、地域住民の負担を増やす、伝統のない無駄な文化活動（社会福祉協議会の映画鑑賞、生涯学習などの取り組み）を減らすことで、若い世代の嫌悪感を醸成しないようにしてほしい。

- ・もう少し市民目線になる必要を自覚されたい
- ・文化振興につかう金があればインフラ充実、税金削減して。あと、振興にことよせて天下り先をふやすことのないように。
- ・経済のために？市民のために？文化財を守るために？活動するのか。立ち位置を明確にしてから三方よしに近づくよう塩梅する。
- ・文化振興という名前を変えたほうがいいと思う。わかりづらい
- ・大津市職員が、県立も含めた箱モノや、有名で意識の高いとされている人だけの活動に予算や資源を割き、地域でお金もなく活動している郷土史家たちには、長年議員をしているだけの人間同様に、つまらない置時計等を商品にして文化功労賞を渡すのみ。経営にいのちをかけている民間会社の方が、販売機能に文化的要素を取り入れる工夫をして、人々もそこに魅力を感じて集まっています。市は、今後も文化財保護課のような不祥事を起こしているだけなら、いっそ、文化基金でも作って、本当に地域で活動し、実践的アイデアを持つ人たちに補助を出して協力する、程度の、いわば下請け的役割を務めたほうがいいと思います。
- ・文化振興とは少し話がずれるかもしれませんが。元々県外から大津市に引っ越しで来たものです。大津は観光資源が沢山あるにも関わらず、交通インフラが整っていなかったり、発信が少なかったり、街の整備が追いついていない印象を持っております。本当に勿体無いと感じています。神戸くらいの都市になるポテンシャルがあると思うので、もっと広げて行ってもらえたらいいなと思います。シカゴのグラントパークやネイビーピアなども参考にされたら良いのではと思います。(あの規模は難しいとおもっています)
- ・行政による広報活動の活性化に期待します。
- ・予算を確保し文化振興を進めて頂きたい

○自然・景観・まちづくり

- ・琵琶湖や緑地などの自然環境、歴史的景観の保全を求める回答が見られる。高層マンション建設や景観を損なう開発への懸念とともに、自然を活用した文化的な過ごし方や、景観と文化を一体的に捉えたまちづくりを求める意見がある。

- ・お金をかけない、ハイキング、登山、など自然をテーマに楽しむのが、いい。ボート、サップ、釣り、バードウォッチングなど、琵琶湖を利用したらいい。木をたくさん植えて、日陰を作り、活動場所を提供する
- ・湖岸の高層マンション建設を規制してほしい。
- ・大津宿の景観が京町の一部だけしか守られていないのが大変中途半端です。また景観保全は進めてもらいたい。民家を取り壊されてマンションになることや、大津プリンスホテル周辺の県道沿いの商業施設が景観を乱しているのがとても残念です。
- ・琵琶湖や周辺の緑地など自然がたくさんあるのに、高層マンションが琵琶湖のすぐそばにたくさん建っていて、景観が損なわれたり自然に触れる機会が減ったりしていると思う。
- ・大津市にとっては琵琶湖の存在が文化醸成の大きな要素を占めていると思いますが、何よりもその市民の生活文化を分断している琵琶湖岸に林立する巨大マンション群を認めてしまった取り返しのつかない都市計画が残念でなりません
- ・景観や自然に関わる取組を文化振興と一体的に進めてほしい。